



2022年度Aプログラム
協力型研修施設
歯科臨床研修医ガイド

昭和大学 藤が丘病院 歯科・歯科口腔外科

～周術期口腔機能管理・医科歯科連携・歯科小手術を学びませんか～

昭和大学藤が丘病院

救急指定病院（2、3次）

神奈川県がん診療連携指定病院

地域医療支援病院

日本医療機能評価機構認定病院

卒後臨床研修評価（JCEP）認定病院

昭和大学 藤が丘病院 歯科・歯科口腔外科

代表者：岡松 良昌

所在地：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30

連絡先：（病院代表）045-971-1151

（歯 科）045-974-6635

URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHF/>

厚生労働省の歯科医師臨床研修の基本理念に以下のような一文があります。

「臨床研修は、歯科医師が、歯科医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。」

日本は超高齢社会に向かっており、これからの歯科治療は1本の歯や口腔内のみを治療するのではなく、全身的な疾患との関連性を考える力が必要になってきます。また、高齢者で何らかの病気に罹患している患者さんを診察する機会が増えていくと考えられ、患者さんの全身状態を踏まえた上での歯科治療について、医科の主治医や患者さんの家族と共に考えることが必須となってくると思います。

将来、みなさんがどの分野に進むとしても、医科歯科連携を経験できる、この藤が丘病院での研修期間はみなさんの大切な経験となることと思います。



2022年度Aプログラム
協力型研修施設
歯科臨床研修医ガイド

研修日程

	指導者	手術、回診など	研修場所	研修内容
月	岡松、安藤	口腔ケアセンター回診	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科室 (1階) ・ スポーツ 医学研究所 ・ 集中治療 室 (ICU、 EIU、SCU) ・ 一般病棟 ・ 救急救命 センター 	<p>1) 周術期口腔機能管理および口腔健康管理 (急性から慢性期)における チーム医療の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的と評価および管理 ・ 退院時の指導 <p>2) 地域包括ケアにおける歯科の役割 (クリ ティカルパスの活用)</p> <p>3) スポーツ歯学、口腔ケア回診への参加</p> <p>4) 医科の各種研修会、歯科保健請求など に関する研修会、医療安全研修会などへの参加</p>
火	岡松	SCU回診		
水	岡松、安藤			
木	岡松、安藤	口腔ケアセンター回診		
金	安藤	口腔ケアセンター回診		
土	岡松、安藤	手術日 (土曜出勤の場合は、代休 あり)		
日	休診			

専任歯科医師：2名、口腔ケアセンター回診：月・木：昭和大学歯科病院高齢者歯科Dr、金：口腔リハビリテーション科Dr
 歯科衛生士：2名
 クラーク (委託職員)：1名
 ユニット数：3台

当科の主な診療内容

1. **周術期等口腔機能管理**：全身麻酔管理下での患者さんの治療が安心・安全に施行されるように、医科の先生方と連携しながらの診療および治療。また、放射線化学療法患者さんの口腔感染症の予防への取り組みおよび口腔機能管理
2. **骨修飾薬使用前後、免疫抑制剤使用開始前後の患者さんの感染リスクの評価**：薬剤性顎骨壊死の予防や口腔カンジダ症の予防のため口腔内環境改善に対する取り組み
3. **歯科恐怖症患者への歯科治療**：外来での静脈内鎮静法、全身麻酔対応
4. **昭和大学スポーツ医学研究所との連携**：日本体育大学ラグビー部、大東建託所属アスリート、および洗足学園バレエコース在籍の選手に対する包括的歯科治療（スポーツ歯科外来）。

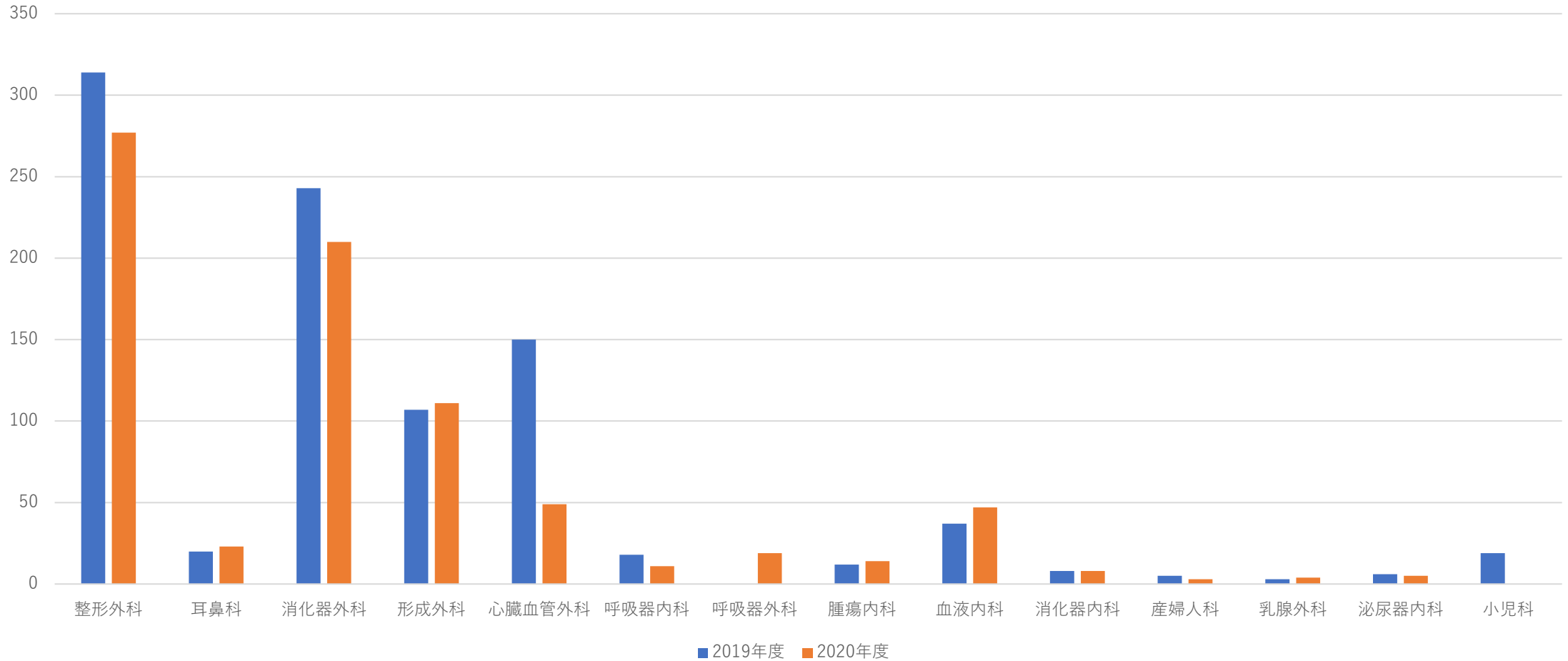
取り扱う口腔外科的疾患

- ・ 歯・歯周疾患：埋伏歯など
- ・ 炎症性疾患：歯性上顎洞炎、骨髓炎、顎骨壊死など
- ・ 嚢胞性疾患：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原性角化嚢胞、粘液嚢胞など
- ・ 口腔粘膜疾患：白板症、口腔扁平苔癬、口腔カンジダ症など
- ・ 口腔外傷：口腔粘膜裂傷、歯の脱臼など
- ・ その他：顎関節症など



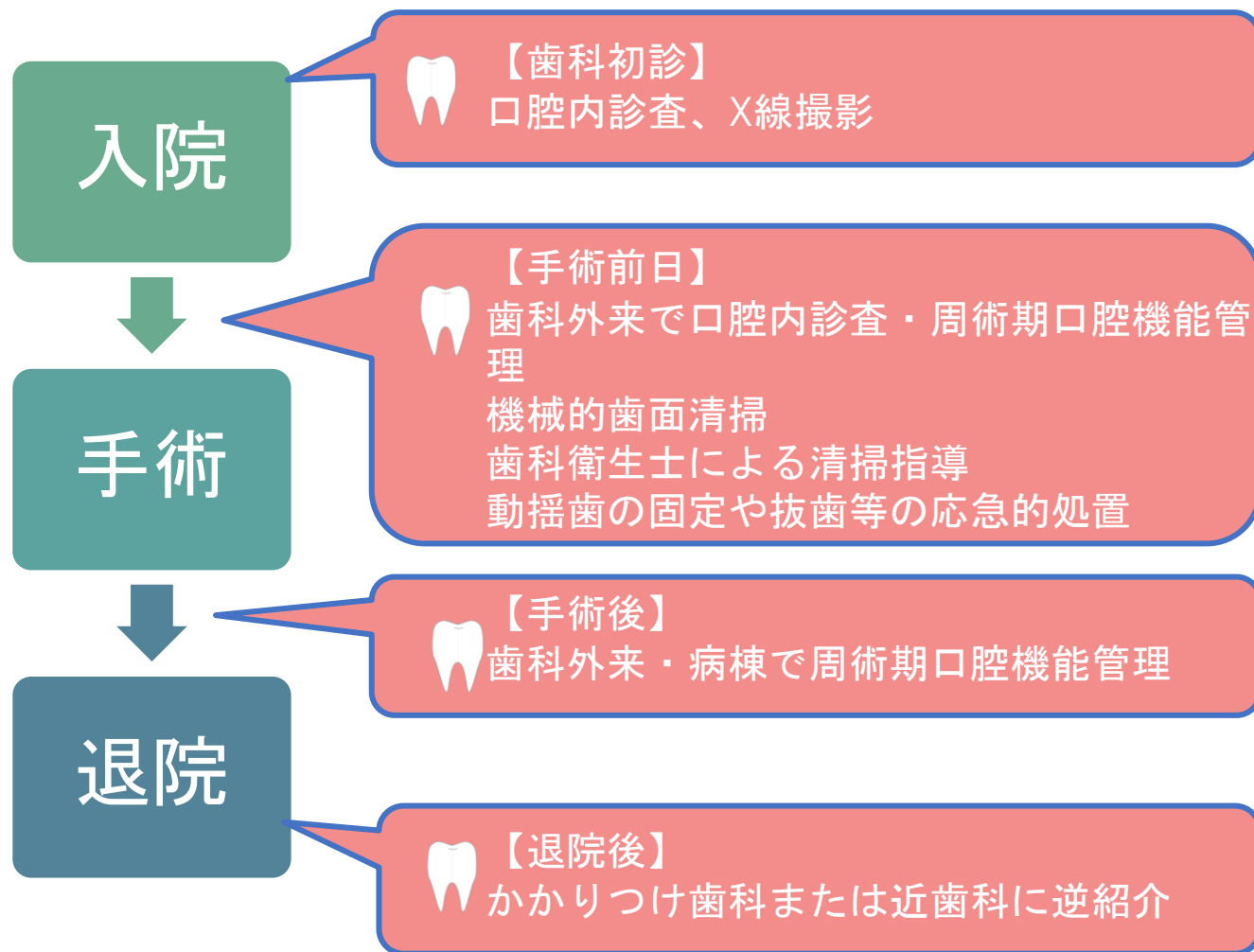
* 口腔機能管理とは、歯周治療、う蝕治療、補綴治療、抜歯（感染源除去）、粘膜疾患の評価および治療、顎骨骨折、軟組織裂傷などの外傷に対する処置、顎間固定用プレート作成、軟組織保護用プレート作成など

当院過去5年間に於ける周術期口腔機能管理の症例数（各科別）



全体としては、2015年には周術期口腔機能管理（手術前後、化学療法、放射線療法に伴う口腔機能管理）の依頼が約150症例だったものが2020年には700症例以上となっています。周術期口腔機能管理を行うことで、術後の合併症を押さえられ、入院日数の短縮につながるということが知られてきました。

当院における周術期口腔機能管理の流れ



昭和大学藤が丘病院
オープンカンファレンス
(がん治療患者に対する
周術期口腔機能管理について) などを行
い、近隣歯科医院との連携を取って
います。



参加した病院周辺の医師に対して
口腔ケアの必要性について講演



模型を用いて口腔ケア方法を説明

他科との連携の一例



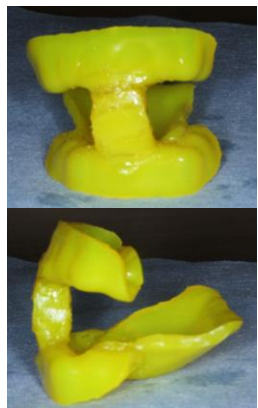
スポーツ医学研究所による
アスリートに対する
マウスガード作製



薬剤部の協力による
病棟における薬局見学



藤が丘リハビリテーション病院（慢性期病院）における誤
嚥性肺炎患者のV F 検査



口腔内装置の一例

口腔内装置：頭頸部における放射線治療の際に、下顎の安定ならびに照射に関係がない部位の保護のためにののために欠かせない装置。

これ以外に、脳外科の手術の際に下顎を偏移させることで容易に手術ができるようにする
ようなマウスガードの作成も行います。



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

2022年度Aプログラム
協力型研修施設
歯科臨床研修医ガイド

研修医の皆さんへ 昭和大学藤が丘病院で共に学びましょう



昭和大学 藤が丘病院 歯科・歯科口腔外科
代表者：岡松 良昌
所在地：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
連絡先：（病院代表）045-971-1151
（歯 科）045-974-6635
URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHF/>